



斎王まつりで民踊を披露する本町の民踊団体

民踊団体を三重県明和町に派遣

友好を深めた文化・物産交流

三重県明和町と友好交流提携を結んでいる町では、同町の斎宮歴史博物館周辺で6月1日・2日に行われた「第20回斎王まつり」に本町の民踊団体などを派遣し、文化交流を行いました。

同町とは、全国の市町村の中で唯一、同名の町として平成11年6月の友好交流提携を機に、教育、文化、産業、スポーツおよび観光など幅広い交流で親睦と友好を深めていくことを目指しています。

今回三重県に訪問したのは、斎藤町長をはじめ町内の民踊団体の会員や関係者ら29人。会員は、斎王まつりのアトラクションで6月2日の午前と午後の2回出演し、本町の民踊を披露しました。

また、三重県明和町の民踊団体なども出演し、両町の民踊を通じ



本町のあじさいを三重県の木戸口町長に手渡し斎藤町長(右)



斎王まつり出演者(右が斎王)

今後は、9月中旬ごろ三重県明和町から関係者が本町に訪れ、同町の木である「榎」の記念植樹を行う予定になっています。

斎王まつりとは…
斎王まつりは、当初史跡斎宮跡の発掘に伴い、「斎王たちの鎮魂」のため有志数名で始まったまつりで、今年度で20回目となりました。メイン行事である「斎王群行」の出演者を全国から募集するなど、地元のまつりから広域的まつりへと発展しています。



斎王まつりのメイン行事「斎王群行」



三重県民でにぎわった本町の物産販売店